

資料No. 5

江田島市公共交通協議会
平成30年3月22日

国道487号交通量調査について

1 概要

第二音戸大橋の開通等による市内航路の自動車搬送数の影響を把握するため、平成22年度から継続的に陸路による市内外への自動車の出入りを調査する。

2 調査方法

- ・平成22年度から毎年度、同時期（12月上旬の平日及び休日）に実施。
- ・市内外を結ぶ唯一の陸路である早瀬大橋において定点観測を行う。

【今年度調査】

- ・調査日時 平日：平成29年12月7日（木） 7:00～19:00（12時間）
休日：平成29年12月3日（日） 7:00～19:00（12時間）
- ・調査場所 江田島市大柿町大君 早瀬大橋出入口付近
- ・調査方法 調査員2名を配置し、江田島市を基準とした流入・流出車数を計測。

3 これまでの調査結果の推移

- ・平日、休日ともに、第二音戸大橋開通前後（H24-H25）では、交通量が大きく増加した（9ページ参照）。
平日 7,407台 → 7,904台 497台増加（約6.71%増）
休日 7,192台 → 8,025台 833台増加（約11.58%増）
- ・調査開始（H22）から第二音戸大橋開通前（H24）までの3年間と、第二音戸大橋開通後（H25）から最新（H29）までの5年間の、それぞれ平均を比較した。
平日 朝7時台の増加が大きく、その他の時間帯も総じて増加傾向にあることから、通勤を含む仕事関係での利用が、航路から陸路にシフトしたと思われる。
休日 多少の増減はあるものの、トータルでは微増にとどまる。市内の自動車保有台数や人口の減少（下記参照）を考慮したとしても、大きな変化は見受けられない。

（参考）

- ・第二音戸大橋開通後において、市内の自動車保有台数は毎年減少（10ページ参照）。
H25 16,781台 → H29 16,299台 482台減少（約2.87%減）
- ・また、16歳以上人口についても毎年減少（17ページ参照）。
H25 23,241人 → H29 21,252人 1,989人減少（約8.56%減）